

Cisco ・ Linux 技術者認定資格 取得支援サービスの概要



情報セキュリティ技術者育成のために



はじめに

「情報セキュリティ技術者（セキュリティエンジニア）」になるためには、資格が必須というわけではありません。しかし、本来のセキュリティエンジニアはネットワークやサーバのスペシャリストであり、セキュリティに配慮したシステムの提案や設計、構築といった実装作業を行える技術者を指します。

多様化する様々なセキュリティ課題を解決に導くためにはセキュリティの概念や仕組みだけでなく、実務における知見が必要不可欠となります。だからこそ、ネットワークにおける「Cisco」、サーバにおける「Linux」といった既存システムで圧倒的に実装事例の多い技術領域の知見を身につけることがセキュリティエンジニア育成に必要な重要な項目の一つとされています。

対応資格一覧

● ネットワーク「Cisco認定資格」

- CCNA (100-105J : ICND1)
- CCNA (200-105J : ICND2)
- CCNP (300-101J : ROUTE)
- CCNP (300-115J : SWITCH)
- CCNP (300-135J : TSHOOT)

● サーバ「LPI-Japan認定資格」

- LPIC Level1 Ver4.0
- LPIC Level2 Ver4.0



受講対象者

● 多くの受講生が始めて学習される方です。

1. これからITインフラ、セキュリティについて学習を始める方。
2. 学習した知識を客観的な評価に繋げるために資格を取得したい方。
3. ITインフラの知見を更に深めるために上位資格を学習したい方。

1. 模擬テストモード

通常の演習モードとは別に模擬テストモードが用意されており、資格によっては、問題数や制限時間等、本番試験と変わらない環境で模擬試験を行うことが可能です。また、出題内容は演習問題より毎回シャッフルして出題されるため、繰り返し何度でも行うことで習得率を高められます。

LPIC101				
コンテンツ名	種類	進捗率/得点	最終学習日	
LPIC101 (合格ライン:90点,制限時間:90分)	テスト	不合格 1	2015/08/04	

LPIC102				
コンテンツ名	種類	進捗率/得点	最終学習日	
LPIC102 (合格ライン:90点,制限時間:90分)	テスト			

3. 受講状況の把握

登録ユーザーの受講状況を一目で把握することが可能です。また、テストモードの集計結果をCSVでダウンロードすることもできます。取り込んだデータには得点だけでなく、回答内容も含まれるため、「受講者の正解率」、「誤答の傾向」等を分析できます。

ユーザーグループ: GFD

終了率: 指定なし | 指定なし

検索: [条件クリア]

検索結果: 2名

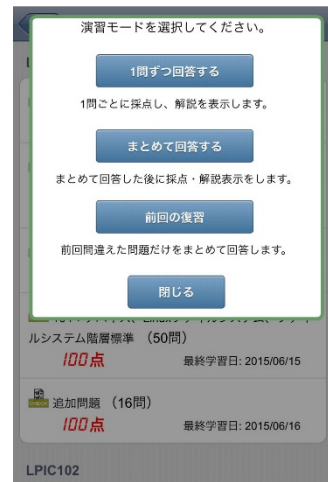
[結果をダウンロード](#) | [2名へのお知らせを作成](#)

(終了率検索は即時反映に掛かります。現時点での進捗をみる場合は各受講者の「詳細」、またはコンテンツ詳細ページを確認してください。)

メールアドレス	氏名	終了率 (今月 14:00現在)	グラフ	詳細
learning2@df-design.jp	learning2@df-design.jp	21%		詳細
learning1@df-design.jp	learning1@df-design.jp	7%		詳細

2. マルチデバイス対応

マルチデバイスに対応しており、パソコンだけではなくスマートフォンやタブレットでも受講可能です。画面レイアウトはデバイス毎に最適なレイアウトに調整されます。



4. お知らせ機能

ユーザーIDにメールアドレスを登録した場合、受講者に対してお知らせを送ることができます。お知らせは、受講画面のトップに表示させたり、配信先のユーザーグループや公開日時を設定しておけば、その時間になるとメールでお知らせすることもできます。

